



## 令和6年度 教育課程編成の重点

- 1 児童の実態及び地域性を考慮し、家庭・地域社会・諸団体等と連携しながら、アクションプランに基づき小規模校ならではの良さを生かした特色ある教育活動を推進する。
- 2 子供たち一人一人が未来に向けて夢を持てるよう、その実現に向けて自ら学ぶ力を育成する。「本や文章を自ら読む」「話の内容を理解する」「言語によるコミュニケーションがとれる」等の学びの基盤を読書活動の充実により培う。
- 3 学校教育目標を踏まえ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動との教科横断的な視点で学びを深められるようにカリキュラム・マネジメントを実施する。その際、児童の未来を見据え、社会人の育成というキャリア教育の視点を加味する。
- 4 わかる授業・楽しい授業の実現に向けて、ICTを活用した学習活動の工夫やきめ細やかな指導、授業形態の工夫を推進する。そのために校内研究を充実させ、教職員の授業力向上を図る。
- 5 子供たち一人一人のよさを認め、授業や校外学習などの行事を含めたあらゆる学校教育の場を通して、適切な評価をしながら自己有用感を高める。メタ認知を身につけさせるとともに他者への気づき、理解から思いやりのある心豊かな児童を育成する。
- 6 児童の実態を知るとともに家庭や外部機関と連携しながら、個々の教育的ニーズに応じた合理的配慮をし、きめ細やかな指導と支援を学校全体で行う。
- 7 養護教諭による保健指導、栄養士による食育指導など校内の教職員の専門性を生かしたり、体育科のカリキュラムに即した運動週間等を実施したりして、心身共に健やかな児童の育成を推進する。